



【学校教育目標】「誠」を校訓として、人間性豊かな、たくましい生徒の育成につとめる
～「時を守り」「場を清め」「礼を正す」～

「命の大切さについて考える道徳」講師：本校の先輩たち

11月10日(金)に全校道徳で、本校の卒業生を含む4名の講師の皆様(山本 恭平 先輩、山本 了代さん、小方 一磨 先輩、道本 貴紀 先輩)にご来校いただき、全校で道徳授業を行いました。先輩が小学生と中学生だったときの元担任の恩師の先生方(樋上 美由紀 先生、西田 和弘 先生)も一緒に参加されました。この授業は、2年前にも実施しています。先輩は本校の卒業生で、進学した大柿高校でも勉強やいろいろな活動に積極的に取り組み、努力した甲斐あって、就職難を乗り越え就職して順調に生活しておられました。その後、病気などがあり、さらに孤独を感じて絶望していたとき、友人たちの心温まる支え合いなどで、闇の状況から光を見出し、生きる希望を強く持ち続けて人生を力強く歩んでいけるようになりました。生徒たちは先輩の涙あり、力強さありの思いを込めたお話を心で受け留め、真剣に命の大切さについて考えていきました。そして先輩方に授業の感想やメッセージを返していきました。先輩は、生徒の皆さんの感想や先輩へのメッセージを何度も読み返されています。皆さんの一人一人の言葉や思いが先輩の大きな力になっています。ありがとうございました。また、先輩は、生徒一人一人の授業を通して考えた思いに寄り添い、生徒の皆さんにメッセージを贈られる予定です。先輩方、このたびは誠にありがとうございました。プレゼンの一部を紹介します。



命の大切さについて考える 道 徳

令和5年11月10日(金)

講師 大柿中学校卒業生
山本 恭平 先輩
山本 了代さん
小方 一磨 先輩
道本 貴紀 先輩



10 「生きること」について

(2)人は、どんなときに絶望を感じて、

「死まで考えるときがあるかどうか」わからない。

どんなに絶望しても、人は一人ではない。一人で頑張らないで
⇒ 必ず必要とする人がいる。

それは誰なんだろう、親、友人、おじいちゃん、おばあちゃん、先輩、後輩、先生、近所の人、これから出会う人など、まだ出会っていない人がいるかもしれない。人には、必ず必要とする人がいる。

私は、死を身近に考えたことで、「命の会議」とかいろいろあって、

☆逆に、強く「生きること」を考えるようになった

これまでを振り返って「自分との対話が大切！」

- 自分との対話の大切さをとても感じた！
生徒の皆さんも「自分との対話」をしてみてください。
- 自分のよいところ、よくないところ、
自分の好きなどころ、好きでないところ
自分をしっかり見つめてください。
- その中で、悪いところに執着するのではなく、
良いところ、好きなどころを大切にしてください。

自分との対話が力になる！自分を信じてください！

11 絶望は「大きな大逆転への近道」

(1)「生」と「死」のライン ⇒ 「光」と「闇」のライン

これは、大きなちがいである

「死」のラインに近づいたとき、
逆に強く生きることにつながるラインに変わる場合がある。
私はそれを体験した！

(2) **絶望は「大きな大逆転への近道」なのかもしれない**

生徒のみなさんも生きる意味、生きることの大切さを感じて、
これからの将来に向けて、「光」をもって生きてほしい。

全校道徳の生徒の振り返りで、生徒の印象に残った言葉を掲載します。

- 「命の会議」「おまえは一人じゃない。」「人は決して一人ではない。」「人には必ず必要とする人がいる。」「自分を必要としてくれる人は絶対にいる。まだ出会っていない人かもしれない。」「一人で耐えず、まわりの人に打ち明けてみる。」「小さな光でもいい。光があれば生きられる。」「生きる希望『光』」「『光』を見つけて生きる。」「自分との対話が力になる。自分を信じてください。」「良いところ、好きなどころを大切に。」「生きることの大切さ、尊さ、ありがたさ。」「絶望することがあっても、自分のことを信じて、目標を持って生きる。」「つらいことは自分一人で抱え込まず、周りの人に支えてもらうことも大切。」「一緒に生きてください。」「簡単に命を自ら終えたり、奪ったりするものじゃない。」「死のラインに近づいたとき、逆に強く生きることにつながる場合がある。」「『絶望』というものは、ただマイナスなだけでなく、その時に何かすれば、『大逆転』を掴み取るチャンスになる。」「絶望は『大きな大逆転への近道』」

「命の大切さについて考える道徳」(生徒の振り返り(抜粋))

全校道徳の生徒の振り返りを掲載します。

- 落ち込んだときとかは、今日話してくださったことを思い出して、前に進んでいこうと思いました。
- 「自分との対話が大切」「絶望は大逆転への近道」という言葉がとても良い言葉だと思ったし、これからもがんばろうという気持ちになりました。
- 今日聞いた話は、共感することや確かにという内容ばかりでとても感動しました。
- 僕は今日の話聞いて、「命の大切さ」がより深まったので、学校でもこの授業を続けたらいいなと思いました。治療を頑張ってください。
- 「絶望」というものは、ただマイナスだけではなく、その時に何かすれば、「大逆転」を掴み取るチャンスになるということが分かった。将来「一人になってしまうのではないか」という不安があったけれど、先輩の話聞いて、「人は絶対に一人にはならない、必要としてくれる人、大切な人が必ずいる」と感じる事ができた。
- このお話を通して、どれだけいやなことがあっても「人は決して一人ではない」ということがよく分かった。「命」を大切に生きていきたいです。
- 生きていの中で、いろいろな辛いことを体験し、何度もくじけそうになったけど、友達の声で人生をあきらめない姿にとっても感動しました。また、自身の病気にも負けず、戦い続けているところに心動かされました。私もどんなことが起こってもくじけないよう、がんばろうと感じました。
- 「光」を見つけて生きる」という言葉にとっても感動したから、これからすごく嫌な事があっても、自分で「光」を見つけて、前向きに生きていこうと思う事ができました。
- 今日、お話しされたことは、すごく心に残って気づかされたものも多く、本当に「命」の大切さが分かりました。ありがとうございました。お体にお気を付けてください。
- 先輩のお話を聞いて改めて命の大切さに気付かされました。周りの人の支えがあったことで今の先輩がいる。必ず必要とする人がいる」という言葉を聞いて気持ちがスッキリしました。今日はお話をしてくださり、ありがとうございました。2年前にはまだ手術前だった記憶があるのですが、無事成功されたようで良かったです。「良いところ、好きなどころを大切に」という言葉を聞いて苦手なところしか思い浮かばなかったけど、少し思い浮かんだ自分の好きなどころを大切にしたいと思います。
- 今日はこのような命について考える話をしてくださり、ありがとうございました。自分も先輩たちが言ってくださったように命を大切に生きていきたいと思えます。
- どんなにつらいことがこれからの人生であったとしても、小さくても生きる希望を見出してがんばろうと思えるようになりたいと思いました。今日山本先輩に教えてもらったことを常に心に留めてがんばって生きようと思いました。



【表彰】おめでとうございます！

令和5年度全国中学生人権作文コンテスト呉地区大会

優秀賞 2年 高先 悠斗 「早めに相談することが大切」

奨励賞 1年 大西 ななみ 「平等であること～障害を持つ方へ～」

